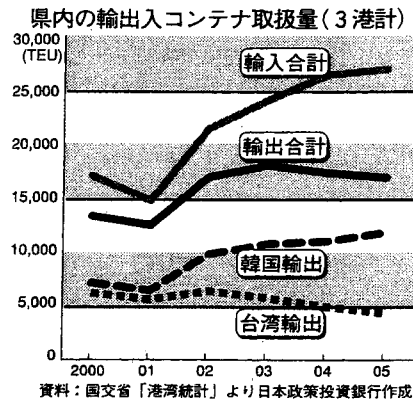


重要な貿易手段であるコンテナの取扱量を紹介します。2005年に県内の松山港、今治港、三島川之江港の3港で取り扱った外貨貨物のうち空コンテナを除いた「外貨実入りコンテナ」は、輸出が1万6843TEU（1TEUは20フィートコンテナ1個）、輸入が2万6855TEU。最近、輸出では韓国向けが好調ですが、台湾向け

### 貿易コンテナ取扱量



## 韓国向け輸出伸びる

の落ち込みのため、全体では横ばい、輸入は全国と同様に増加傾向にあります。

また、05年実績を週平均に換算すれば、輸出324TEU、輸入516TEUとなり、これは300～500TEU積みの船で1週間に1回配船できる数値となります。

輸出貨物の集荷強化は必要ですが、この実績を背景に、今後東アジア諸国とダイレクトで結ぶ海上輸送ルートが一層充実することを期待します。

(日本政策投資銀行松山事務所長・門松 功)